

令和4年(2022年)度 事業報告書

令和4年(2022年)4月1日から令和5年(2023年)3月31日まで

認定特定非営利活動法人 聖地のこどもを支える会

2023年5月15日

1. 事業の実施状況

総括

2021年3月の総選挙の結果、同年6月にネタニヤフ長期政権からの変革を旗印に、ヤミナ党(宗教的右派政党)の[]を首班とし、宗教・右派から世俗・左派、アラブまで幅広い政党で構成される連立政権(変革内閣)が成立するも、約1年で議会は解散。2022年11月の総選挙の結果、12月にリクード党を中心とする第3次ネタニヤフ政権が成立した。司法改革などをめぐり、イスラエル国内では賛成派と反対派で激しい対立が起こる中、パレスチナ人への人権侵害や挑発も繰り返され、かつてないほど緊迫した状況が続く。

2020年1月から始まった新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大は、2022年度も全世界でその猛威をふるい続けたが、感染率が高まるも、重症化の割合は減り、各国で渡航の正常化がすすめられた。そのために2年間中断したスタディ・ツアーの再開を決定したが、一方で、ウクライナ危機による燃料費の高騰、アメリカの利上げ政策の影響で円安が進み、参加費を上げざるを得ない状況となり、学生たちには補助金を助成した。

帰国後参加した学生たちが報告会を開催したり、高校生向けに報告会を行ったりしている。

また、1月にはローカル・スタッフの[]が、来日し、将来の展望を話し合ったほか、オルガン・コンサートや報告会などで支援者と親交を深めた。

2022年度も新型コロナウイルスによる入国規制のためイスラエル・パレスチナ・日本の若者たちのための【平和の架け橋】プロジェクトが実施できなかったことが残念である。

(財政基盤)

- 今期の経常収益には、¥13,303,741円(前年度比2,184,018円減、約21%減)となった。今年は念願のスタディ・ツアーが再会できたものの、チケット代等の値上がりで当団体から参加費に助成したために赤字事業となった。寄附金もウクライナ戦争やトルコ・シリア大地震の影響で多少減収となったことなどの影響がある。持続化給付金1,000,000円を得たが、その他の助成金は取れなかった。

本年度から始めた収益事業に関してコーヒー募金は、イエメンのモカコーヒーという希少コーヒーを選び、イベントなども行ったので、そこそこ、リピーターもついている。当初ドリップコーヒーのみでの販売であったが、粉コーヒーも作ってほしいとのことで地元東中野の焙煎店にお願いし、パンフレット等も置いてもらっている。今後の展開次第。

約30万円かけて仕入れてきたグッズはほとんど売れていない。

- 経常支出に関しては、14,516,311円(2,717,403円増、前年度比約8%増)であった。事務所体制が脆弱なため、業務委託費、人件費などが多くなったこと、スタディ・ツアー参加者に大幅に援助したこと、将来の見通しのために現地スタッフを1月に出張命令を出して来日させたことも一因である。

一認定NPO法人が満たすべき要件として、年間3,000円以上を寄付した支援者が100人以上いることが挙げられる。(パブリックサポートテスト)

当法人は、その要件を以下のとおり満たしている。

3000円以上の支援者数 (正会員・賛助会員を含む)	417名(2021年度) ⇒ 341名(2022年度)
3000円以上の寄付金総額 (正会員費を含まない)	¥10,618,435(2021年度) ⇒ ¥8,434,417(2022年度)

教育支援事業

令和4年度(2022年)は、連帯事務局へは、残念ながら、予算を下回る2,200,000円しか送金できなかった。長引くコロナ、ウクライナ戦争、特に2月に起きたトルコ大地震など影響で、後半の寄付金の減少が大きく響いている。援助した学校数は約20校、援助した児童は延べ81名である。

里子は今昨年の30名から今年度は約23名に減少している。今年も生活苦のために転校を余儀なくされたり、海外移住をしたりするケースも相変わらず続いている。

紛争の長期化による貧困層の拡大、コロナ禍での物価高騰があり、従って学費の上昇という悪条件が重なっている。2022年度私立の学校の授業料は年間、一人あたり、平均15万円(3700シェケル)以上である。しかも、今年度も円安傾向が一向に収まらず、日本円による支援金の価値がイスラエル通貨シェケル(NIS)に対し大幅に低下している(2019年には、1000円=32シェケルだったが、2022年には、1000円=23シェケルにしかない)。今までも私たちの支援金は大海の一滴に過ぎなかったが、現在はもっと価値が下がってしまっている。

今後、教育支援の仕方を根本的に考える必要がある。

青少年国際交流事業

1. イスラエル・パレスチナ スタディ・ツアー《平和を願う対話の旅》

最初は2022年3月実施の予定で計画を立て、参加者募集のためにオンライン説明会などを数回行って12名の参加申込みがあり、数回の事前研修を行った。しかし新型コロナの第6波の影響や、急激な円安などの影響で、実施不可能となり、夏に延期せざるを得なかった。

2022年8月末から14日間ようやくスタディー・ツアー実施することができるようになったが、参加者学生は6名のみだった。現地の物価高騰、円安、ウクライナ危機、航空券や燃油サーチャージの価格高騰などにより高額になってしまった参加費を十分に払ってもらえず、将来への投資のためと補助金を出した。従って予定されていた参加費収入は得られず大きな赤字となった。

しかしスタディ・ツアーの内容そのものは、とても充実した旅になった。現地の人々との温かい心からのしたふれ合いもできた。難民キャンプ訪問、分離の壁など紛争の現実に向き合うことができた。今後参加者たちがこの体験を活かして、それぞれ平和構築の道を進んでくれることを心から望んでいる。

2. イスラエル・パレスチナ・日本の若者がつくる《平和の架け橋》プロジェクトを3月に実施予定であったが、諸々の事情から、2023年8月に実施することに決定した。

普及啓発事業

イスラエル・パレスチナ紛争に関して現地情報を収集し、支援者に発信することは当法人の根幹事業の一つである。今年もニュースレター「オリーブの木」を年4回発行し、毎回700人あまり

の支援者や800あまりの教会や団体に送付してきた。現地スタッフやイスラエル・パレスチナ・日本のOB/OGには、記事やレポート、写真などを提供してもらった。それらの資料は、ニューステターの他にも、イベント、ホームページ、SNSなどを通じての情報発信事業のために大いに役立った。また海外からの理解や協力を得るために、長年の念願だったホームページの英語版を遂に完成することができた。現地スタッフ、あるいはITの知識や英語の能力を駆使して事務局を助けてくれるOB/OGたちにも感謝したい。

コロナが落ち着いてきたこともあり、対面のイベントを開催することができた。スタディ・ツアーに参加した学生たちが広告塔となり、オンラインや、対面のイベントおよび高校などで報告会を行った。

また、現地スタッフ、XXXXXXXXXXが来日したことで、OB/OGたちを含め普及、啓発活動に弾みがついた。

新しい試みとして、支援している学校の子どもが描いた絵をスタディ・ツアーの学生が持ち帰り展示会を行うことができた。

2. 事業に関する事項

(1) 教育支援事業

事業内容	実施期間	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲と人数	事業費(千円)
今年度も教育支援金の予算は3,300,000円であったが、送金額は2,200,000円にとどまった。上記に説明したとおり、支援金額の大幅な減少による。さらに現地の連帯事務局によれば、紛争による貧困に加え、すでに3年続くコロナ禍や物価高騰で学費が高額になったので、教育事情はさらに悪化し、就学困難児童は増加している。今年度も転校したり、行方が分からなくなったりした(親の海外移住などで)児童があり、里親・里子のマッチング調整が増えた。と言うわけで、当NPOの本来の教育支援事業のあり方としては不本意な結果であった。	8月 3月	法人事務局	3名	イスラエル・パレスチナの子どもたち 約81名	2,716

(

2) 青少年国際交流事業

1) イスラエル・パレスチナ・日本の若者がつくる《平和の架け橋》プロジェクト2022

事業内容	実施期間	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲と人数	事業費(千円)
実施に向けて、現地スタッフとともにいろいろな準備(打合せ、募集要項作成、参加者募集、選出、手配)などを行ったが、スタッフが来日することになり、プロジェクトは次年度に延期した。	4月~8月	法人事務局 オンライン	4	-	203

2) 「平和を願う対話の旅」イスラエル・パレスチナ スタディ・ツアー2022

事業内容	実施期間	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲と人数	事業費(千円)
スタディ・ツアー参加学生の募集と選出: ☆ スケジュール策定(現地との協力のもと) ☆ 募集要項作成・HPやインターネット、イベント募集サイトなどを利用して募集する。	9~12月	法人事務局 オンライン	15名	説明会参加者/ 応募者 約30名	3,987

<p>☆ オンラインによる説明会（3回開催）： PowerPoint を使って、当 NPO の紹介、また事業の主旨、目的、行程、活動内容、参加条件などを紹介した。すでに当 NPO の活動に参加した OB/OG(3カ国) の体験談も好評であった。</p> <p>☆ 応募者の面接と選出 6名</p>					
<p>スタディ・ツアー参加学生の事前研修(全4回)：</p> <p>☆ 初回は対面で、2～4回目はオンラインで。</p> <p>☆ イスラエル・パレスチナ紛争の歴史と現実、それぞれの社会が抱えている問題を学ぶ。研究発表、ワークショップ、講演会など。</p> <p>☆ 事前研修の企画・実施などについても極力、学生たち（OB/OG および参加予定者）の自主性とイニシアティブにまかせた（彼らのさらなる成長のため）。</p>	4～月 7月	JICA 地球ひろば オンライン	5名	6名	
<p>スタディ・ツアー実施：</p> <p>「平和を願う対話の旅」6名の学生、理事長、理事1名が参加した。（+現地スタッフによるガイド・添乗・手配など）</p>	8月－ 9月	イスラ エル、 パレス チナ	4名	6名	

(3) 普及啓発事業

事業内容	実施期間	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 範囲と人数	事業費 (千円)
<p>印刷物による情報発信 例年のように、年4回本会紹介パンフレット、教育支援お願いパンフレット、同ポスターおよびニューズレター「オリーブの木」を発行配布し、本会の活動、並びに現地の子どもの現状を支援者、団体などに報告した。</p>	5月 8月 11月 2月	法人 事務局	20名	支援団体 及び 支援者 約3000名 他不特定 多数	1,964
<p>ホームページやSNSによる情報発信 HPに随時本会の活動内容を掲載し、イスラエル・パレスチナ紛争のホットニュースを正義と公正と和解を目指す立場から紹介した。日本語のHPをより分かりやすくアピール力があるようにさらなる改善を加えた。目標としていたHP英語版作成については、時間がかかったが、ようやく完成した。</p>	年間常時	法人 事務局	5名	一般市民 不特定 多数	
<p>メーリングリストなどによる情報発信</p> <p>国際協力NGOセンター（JANIC）、JICA Partner、NGO Network Japan、国連フォーラム、その他を通じ、NGO/NPO活動に関する情報収集やWEB上での広報活動、および募金活動を行った。</p>	年間常時	法人 事務局	3名	一般市民 不特定 多数	
<p>情報の収集活動</p> <p>インターネット、メディアを通じて、イスラエル・パレスチナ情勢に関連する情報の収集活動を行った。特に現地スタッフからは、現地からの生の情報をもらうことができたことは幸いであった。</p>	年間常時	法人 事務局	3名	一般市民 不特定 多数	
<p>スタディツアー参加者による啓発活動</p> <p>1) [] をゲストに迎え、スタディツアー参加者らが学び、感じたことを報告、NHK 解説員の []</p>	10月 2月	四谷 若葉 修道院 +Zoom	3名 3名	約30名 30名	

<p>■■■■にコメントをいただいた。</p> <p>2) 二松学舎付属高校にて高校生のために_学生がスタディ・ツアーの感想や成果について講演。</p>		二松学舎付属高校			
<p>講演会および座談会</p> <p>1) ■■■■講演会 プロジェクトOB/OGおよび支援者のため、NHKの解説委員である■■■■から直近の中東情勢に関する講演会をお願いし、現地の状況理解を図り、継続的に関心を持ち続けてもらう試みを行った。</p> <p>2) エルサレム現地スタッフ ■■■■ 来日報告会 1月28日 イスラエル・パレスチナの若者たちの昨日、今日、そして明日は？ ハイブリッドの講演会を行った。</p> <p>3) ■■■■を囲んで ジャーナリストの■■■■をゲストに迎え、映画「沈黙を破るパート2、愛国の告白」についてOB、OGとのディスカッションを行った。</p>	<p>5月</p> <p>1月</p> <p>2月</p>	<p>四谷若葉修道院</p> <p>四谷若葉修道院</p> <p>オンライン</p>	<p>5名</p> <p></p> <p>3名</p>	<p>約40人</p> <p>約30人</p> <p>10名</p>	
<p>パイプ・オルガンコンサート:</p> <p>■■■■によるパイプ・オルガンコンサートを吉祥寺教会1月21日で開催</p>	2月	吉祥寺教会	3名	40人	
<p>絵画展</p> <p>青猫書房で開催された絵画展 2022/10/01～ 2022/10/10 イラク、シリア、パレスチナ「子どもたちの戦争と日常」展に支援先のエフエタのこどもの絵画を展示し、愛媛からSYBの■■■■をゲストに迎えて「コーヒーも魅力」を語ってもらった。</p>	9月	青猫書房(赤羽)	3名	100人	

活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人聖地のこどもを支える会

自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月31日

【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	326,000		
賛助会員受取会費	18,500	344,500	
【受取寄付金】			
受取寄付金	8,421,008		
施設等受入評価益	0		
ボランティア受入評価益	0	8,421,008	
【受取助成金等】			
受取助成金	0		
受取補助金	0	0	
【事業収益】			
参加料金収益	2,568,709		
コーヒー売上高	951,558		
イスラエル・パレスチナ物品売上	14,052	3,534,319	
【その他収益】			
受取 利息	20		
為替 差益	3,894		
雑 収 益	1,000,000	1,003,914	
経常収益 計			13,303,741
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
給料 手当(事業)	0		
役員報酬(事業)	900,000		
通勤費(事業)	0		
法定福利費(事業)	0		
退職金(事業)	0		
人件費計	900,000		
(その他経費)			
コーヒー仕入高	277,293		
諸 謝 金(事業)	708,297		
水道光熱費(事業)	43,769		
地代家賃(事業)	1,125,000		
印刷製本費(事業)	309,024		
会 議 費(事業)	227,631		
旅費交通費(事業)	0		
旅費海外(事業)	2,192,142		
研修費(事業)	116,198		
通信運搬費(事業)	396,795		
消耗品 費(事業)	24,360		
賃 借 料(事業)	0		
租税 公課(事業)	0		
支払手数料(事業)	94,796		
支払助成金	2,255,192		
保険料(事業)	17,100		
交際費(事業)	16,905		
業務委託費(事業)	1,347,751		
その他経費計	9,152,253		
事業費 計		10,052,253	
【管理費】			
(人件費)			
役員 報酬	429,000		
給料 手当	1,041,050		
法定福利費	0		
退職給付費用	0		
退職金	0		

活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人聖地のこどもを支える会

自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月31日

雑給	100,000	
通勤費	75,720	
人件費計	1,645,770	
(その他経費)		
イスラエル・パレスチナ物品仕入高	64,495	
印刷製本費	4,670	
会議費	43,402	
旅費交通費	458,270	
通信運搬費	84,820	
消耗品費	201,439	
水道光熱費	43,769	
地代家賃	375,000	
修繕費	0	
広告宣伝費	0	
研修費	0	
寄付金	10,000	
諸会費	41,375	
租税公課	20,640	
支払手数料	284,012	
雑費	0	
新聞図書費	0	
交際費	16,500	
業務委託費	1,169,896	
その他経費計	2,818,288	
管理費計		4,464,058
経常費用計		14,516,311
当期経常増減額		△ 1,212,570
【経常外収益】		
前期損益修正益		18,577
経常外収益計		18,577
【経常外費用】		
前期損益修正損		0
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		△ 1,193,993
法人税等		69,900
当期正味財産増減額		△ 1,263,893
前期繰越正味財産額		2,412,936
次期繰越正味財産額		1,149,043

貸借対照表

特定非営利活動法人聖地のこどもを支える会
全事業所

[税込] (単位:円)
2023年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	3,358,384
現 金	112,252	未払法人税等	69,900
現金 外貨	0	預 り 金	30,969
郵便 貯金	2,195,639	流動負債合計	3,459,253
普通 預金	1,729,708	【固定負債】	
現金・預金 計	4,037,599	退職給付引当金	0
(有価証券)		固定負債合計	0
有価 証券	0	負債合計	3,459,253
有価証券 計	0	正 味 財 産 の 部	
(棚卸資産)		前期繰越正味財産	2,412,936
棚卸 資産	280,891	当期正味財産増減額	△ 1,263,893
貯蔵品	12,512		
棚卸資産 計	293,403	正味財産合計	1,149,043
(その他流動資産)			
前払 費用	0		
未収入金	277,294		
その他流動資産 計	277,294		
流動資産合計	4,608,296		
資産合計	4,608,296	負債及び正味財産合計	4,608,296

財務諸表の注記

特定非営利活動法人聖地のこどもを支える会

2023年 3月31日 現在

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 2017年12月12日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の内訳

[税込] (単位：円)

科目	教育支援（里親）事業	平和の架け橋プロジェクト	平和を願う対話の旅	普及啓発事業	コーヒー収益	管理	合計
正会員受取会費	0	0	0	0	0	326,000	326,000
賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	18,500	18,500
受取寄付金	3,209,892	97,167	451,856	0	0	4,662,093	8,421,008
参加費	0	0	2,542,500	12,209	0	14,000	2,568,709
売上高	0	0	0	0	951,558	14,052	965,610
受取利息	0	0	0	0	0	20	20
為替差益	0	0	0	0	0	3,894	3,894
雑収益	0	0	0	0	0	1,000,000	1,000,000
経常収益計	3,209,892	97,167	2,994,356	12,209	951,558	6,038,559	13,303,741
(人件費)							
給与手当	0	0	0	0	0	1,041,050	1,041,050
役員報酬	160,000	90,000	310,000	340,000	0	429,000	1,329,000
通勤費	0	0	0	0	0	75,720	75,720
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0
雑給	0	0	0	0	0	100,000	100,000
人件費計	160,000	90,000	310,000	340,000	0	1,645,770	2,545,770
(その他経費)							
仕入高	0	0	0	0	277,293	64,495	341,788
業務委託費	9,250	0	33,600	464,376	840,525	1,169,896	2,517,647
諸謝金	0	0	655,234	53,063	0	0	708,297
会議費	0	0	221,785	5,846	0	43,402	271,033
印刷製本費	0	0	0	309,024	0	4,670	313,694
消耗品費	0	0	7,741	8,199	8,420	201,439	225,799
旅費交通費	0	0	2,191,472	398	272	458,270	2,650,412
支払手数料	71,742	20	408	1,593	21,033	284,012	378,808
通信運搬費	10,868	0	16,288	339,593	30,056	84,820	481,615
地代家賃	200,000	112,500	387,500	425,000	0	375,000	1,500,000
水道光熱費	8,754	0	13,131	17,508	4,376	43,769	87,538
支払助成金	2,255,192	0	0	0	0	0	2,255,192
修繕費	0	0	0	0	0	0	0
研修費	0	0	116,198	0	0	0	116,198
諸会費	0	0	0	0	0	41,375	41,375
租税公課	0	0	0	0	0	20,640	20,640
交際費	0	0	16,905	0	0	16,500	33,405
新聞図書費	0	0	0	0	0	0	0
寄付金	0	0	0	0	0	10,000	10,000
保険	0	0	17,100	0	0	0	17,100
その他経費合計	2,555,796	112,520	3,677,362	1,624,600	1,181,975	2,818,288	11,970,541
経常費用計	2,715,796	202,520	3,987,362	1,964,600	1,181,975	4,464,058	14,516,311
当期経常増減額	494,096	△ 105,353	△ 993,006	△ 1,952,391	△ 230,417	1,574,501	△ 1,212,570

3. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳(正味財産の増減及び残高の状況)は以下の通りです。

当法人の正味財産は**1,149,043円**ですが、そのうち494,096円は、下記のように使途が特定されています。

したがって使途が制約されていない正味財産は**654,947円**です。

[税込] (単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
教育支援（里親）事業	0	3,209,892	2,715,796	494,096	
交流事業（平和の懸け橋プロジェクトおよび平和を願う対話の旅）	524,961	549,023	4,189,882	0	
合計	524,961	3,758,915	6,905,678	494,096	

4. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

[税込] (単位：円)

科目	前期中間に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び関係人等との取引
(活動計算書) 地代家賃	1,500,000	1,500,000	0
活動計算書計			

5. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・ 事業費と管理費の按分方法

各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、給与手当、退職給付費用、福利厚生費及び通勤費については従事割合に基づき按分しています。

財 産 目 録

特定非営利活動法人聖地のこどもを支える会
全事業所

[税込] (単位: 円)
2023年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現金	112,252	
現金 外貨	0	
郵便 貯金	2,195,639	
郵便貯金口座	461,914	
郵便振替口座	1,639,188	
郵便振替口座 (こどもマーケット)	94,537	
普通 預金	1,729,708	
三菱UF	900,729	
三菱UF	828,979	
現金・預金 計	4,037,599	

(有価証券)

有価 証券 (切手)	0	
有価証券 計	0	

(棚卸資産)

棚卸 資産	280,891	
イスラエル・パレスチナ物産品	271,802	
コーヒー (ドリップパック分)	9,089	
棚卸資産 計	280,891	

(その他流動資産)

前払 費用	0	
未収入金	277,294	
クレジット払い3月分	80,500	
スタディーツアー参加費	174,500	
コーヒー売上4月入金分	22,294	
貯蔵品	12,512	
切手	12,134	
はがき	378	
その他流動資産 計	289,806	

流動資産合計

4,608,296

資産合計

4,608,296

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金	3,358,384	
	3,048,551	
池田税理士事務所	22,000	
(株)ロボットペイメント	11,046	
	10,000	
	8,400	
	18,352	
	16,875	
	12,000	
	108,860	
	22,500	
	79,800	
未払法人税等	69,900	
預 り 金	30,969	
源泉所得税預かり (外注分)	5,912	
源泉所得税預かり	2,200	
源泉所得税預かり (謝金特納分)	1,939	
源泉徴収税預かり (特納分)	918	
流動負債合計	3,459,253	

【固定負債】

退職給付引当金	0	
固定負債合計	0	

負債合計

3,459,253

正味財産

1,149,043

令和4年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

聖地のこどもを支える会

特定非営利活動法人

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- ✓以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
- ✓各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)		前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名			
1	○理事・監事	イノウエヒロコ		令和4年 4月 1日	令和4年 4月 1日
		井上 弘子		令和5年 3月 31日	令和5年 3月 31日
2	○理事・監事	ナカヤマユリア		令和4年 4月 1日	年 月 日
		中山 夕里亜		令和5年 3月 31日	年 月 日
3	○理事・監事	タセイノリコ		令和4年 4月 1日	年 月 日
		田制 則子		令和5年 3月 31日	年 月 日
4	○理事・監事	サトウカツヒロ		令和4年 4月 1日	年 月 日
		佐藤 克裕		令和5年 3月 31日	年 月 日
5	○理事・監事	ムラカミユイチ		令和4年 4月 1日	年 月 日
		村上 宏一		令和5年 3月 31日	年 月 日
6	○理事・監事	フクシマタカカズ		令和4年 4月 1日	年 月 日
		福島 貴和		令和5年 3月 31日	年 月 日
7	○理事・監事	ヒラキトモヨ		令和4年 4月 1日	年 月 日
		平木 朋世		令和5年 3月 31日	年 月 日
8	○理事・監事	ナイトウトオル		令和4年 7月 1日	年 月 日
		内藤 徹		令和5年 3月 31日	年 月 日
9	理事・○監事	ヒュウガジツカサ		令和4年 4月 1日	令和4年 4月 1日
		日向寺 司		令和5年 3月 31日	令和5年 3月 31日

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人 聖地のこどもを支える会

	氏 名
1	福島 貴和
2	中島紀史子
3	村上 宏一
4	守口 毅
5	阿部 圭子
6	山田 康子
7	堀 正巳
8	渡邊 禮子
9	倉田 昌子
10	平木 朋世
11	葛西 咲子
12	鈴木 典子